

第25回冬季スポーツ科学フォーラム In 小樽商科大学

25th Japanese Forum of Winter Sports Science

大正12年 第1回全日本スキー選手権 開催地



昭和11年第4回冬季五輪ガルミッシュ大会ジャンプ出場者
(選手・役員15名参加、9名が小樽出身者)

大正ロマンの街・もうひとつのスキー発祥の地

ようこそ小樽へ！

期 日： 平成26年5月31日(土)・6月1日(日)
会 場： 小樽商科大学 4号館160番教室
住 所： 〒047-8501 小樽市緑3-5-21
主 催： 冬季スポーツ科学研究会
第25回冬季スポーツ科学フォーラム実行委員会
協 賛： (株)アンビックス 朝里川温泉スキー場
(株)アドウィック、東大能力研修舎
後 援： 国立大学法人小樽商科大学

5月31日(土) 一般公開 市民・学生無料

フォーラム参加費：会員2,000円 懇親会参加費：会員5,000円

あいさつ
—国際連携活動への扉を開こう—
運営委員長 渡部 和彦

第25回冬季スポーツ科学フォーラムが、このたび、小樽商科大学で開催されるに当たり、ご準備をいただいた多くのご関係の皆様方に心から感謝申し上げますと共に、実りある大会になることを願っています。

さて、日本冬季スポーツ科学学会は、1988年10月に発足して以来、今年で4半世紀を迎えます。この節目の時期に、研究会発足の原点に立ち返り、社会の変化を見据えながら、この研究会のより良い発展と社会貢献の為に、今後の方向性について考えたいと存じます。

この25年間における、わが身の経験から振り返ると、手書き原稿を印刷屋に廻すのが当たり前の時代から、ワープロ（書院）、それも東の間、パソコンの到来。そして、現在、インターネット社会で、アイホン、スマホの全盛。

長野オリンピック（1998年）では、本研究会が中心となり、IOC（国際オリンピック委員会）研究プロジェクトを経験しました。また、「スポーツ科学研究プロジェクト（IOC Sport Science Education）」を初めて立ち上げました。

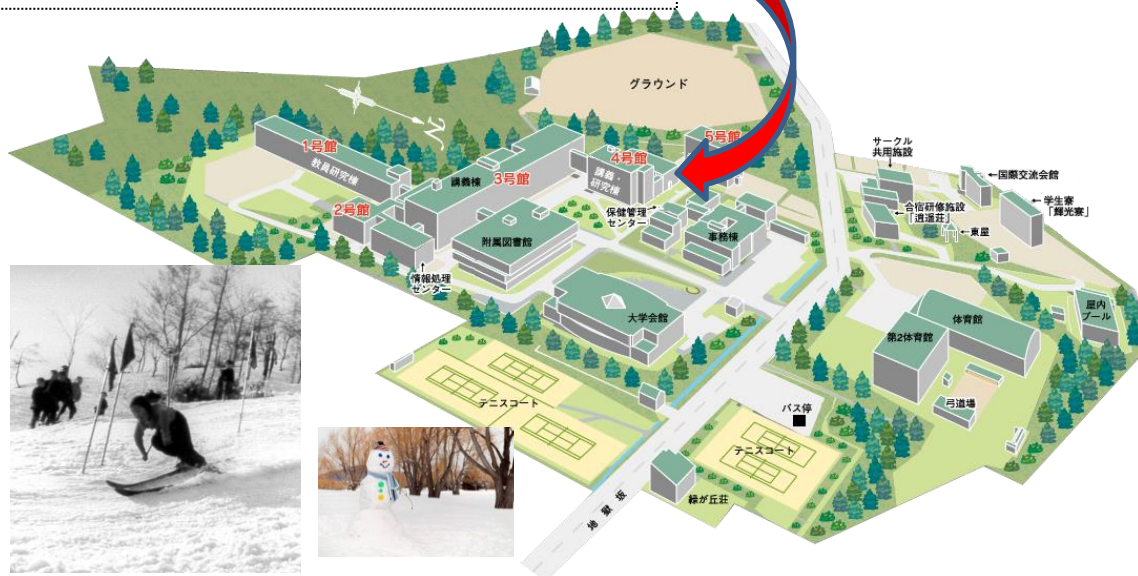
当時、IOC副会長で、このプロジェクトの支援者、故 Prince De Merode 氏を記念する、「プリンス・デ・メロード記念、IOCスポーツ科学プロジェクト」が現在も続いています。長野オリンピック後、冬季五輪は、ソルトレーク（2002）、トリノ（2006）、バンクーバー（2010）、そして、ソチ（2014）と続きました。今回は、韓国の平昌（2018）です。この間、冬季スポーツ科学の発展と共に、情報伝達手段も格段に進歩しました。

冬季スポーツ科学学会の研究対象は、競技力向上のみならず、厳しい冬季の環境下で生活する人々の生命・健康・安全の確保等に関する研究があります。また、冬季スポーツの文化に関する教育研究支援、スポーツコーチ、トレーナー、教師など指導者育成に対する支援もあります。「スポーツ科学教育プロジェクト」では、これらの研究領域をカバーし、パネル展示しました。

最近の科学技術の進歩は、全世界の様々な指導現場に多様な情報を容易に提供できるようにしました。隣国韓国では、「韓国冬季スポーツ科学学会」を昨年立ち上げました。今はまさに、学問研究の成果を国内外に発信し、国際的視野から社会貢献を考える時代です。奇しくも、スポーツ指導に関する国際学会（第1回アジア太平洋コーチング学会：7月11日 - 13日）が札幌で開催されます。運動・スポーツ指導を正しく支え・導く科学と研究者の貢献に期待したい。

会場へのアクセス

会場：4号館 160番教室入口



昭和 18 年猪谷千春（小 5）の滑り
ここ緑町で練習していた
第 1 回全日本スキー選手権大会会場



JR 小樽駅

●●● 小樽駅から小樽商大まで ●●●●●●●●

小樽商科大学 ●●●●●●●●●● JR小樽駅

バス：約10分
タクシー：約5分
徒歩：約20分（地獄坂上り 25分）

- 中央バス：小樽商大線に乗車して、所要時間約 10 分。終点「小樽商大前」で下車。
- タクシー利用。所要時間約 5 分
- 徒歩。所要時間約 20 分

5月31日(土) 4号館160番教室へは2Fからご入場下さい

13:00 ~ 受付

13:30 ~ 13:40 開会式 進行 実行委員長 中川喜直(小樽商科大学)
大会長 挨拶 和田 健夫 国立大学法人 小樽商科大学学長
代表幹事挨拶 渡部 和彦 NPO 法人日本スポーツコーチ&トレーナー協会

13:45 ~ 14:35 基調講演

テーマ: 「冬季スポーツ科学研究小史」
講演者: 北川 薫 中京大学学長
座長: 飯塚 邦明 東大能力研修舎

14:45 ~ 16:45 シンポジウム

テーマ: 「ソチ冬季五輪報告」 — 冬季五輪誘致へ向けてのメッセージ —
コーディネータ 森 敏 (東海大学)
シンポジスト 小川 孝博 (全日本女子スキージャンプコーチ)
川端 絵美 (元五輪アルペン選手、ソチ解説者)
竹田 正樹 (同志社大学)
森 敏 (東海大学)

※都合により内容が変更になる場合があります

17:30 ~ 19:30 懇親会

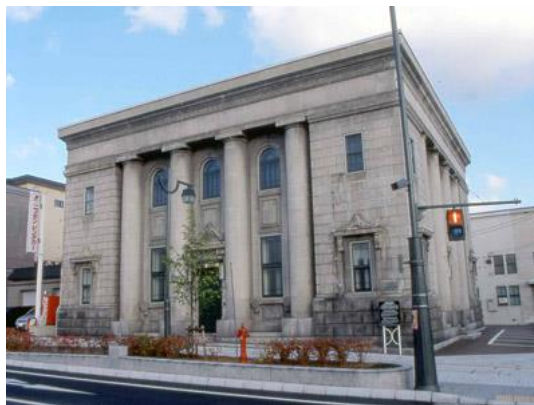
会場: **花ごころ** 小樽駅前徒歩6分

小樽市色内2丁目11番地 TEL: 0134-32-8777

参加費: 会員5,000円

会場よりタクシーで向かいます。分乗乗車にご協力下さい

旧安田銀行小樽支店 昭和5年建築 小樽市指定歴史的建造物 第19号



6月1日(日)

9:30 ~ 受付

9:30 ~ 10:00 運営委員会 4号館2階251 大学院講義室

10:00 ~ 11:30 一般研究発表 (口頭) 場所: 4号館160 番教室

☆会場が160番教室から、5号館1階AL教室へ変更がある場合がございます。

11:30 ~ 11:45 総会 閉会式

口頭発表 タイトル

☆ご発表は各自ご持参のPCでお願い致します。(発表10分、質疑応答3分、演者交代2分)

座長: 三浦 康二 (成蹊大学)

- ① キッズスポーツチャンギ (将棋) の開発 考える力醸成の一環としての「先を読む力」に有効 ○高橋 寛 (ながの国際交流スポーツクラブ) 堀米光男、高橋ユウエン、上原真奈、小池マユミ (以上指導者)
- ② 第2回 韓国 冬季スポーツ フォーラムの報告 2014年2月22-23日 ピョンチャン (Welli Hilli Park) にて
○飯塚 邦明 (株式会社 東大能力研修舎)
- ③ 冬季オリンピックの遺産と地域創造 ——長野県白馬村を事例として——
○植田 俊 (東海大学国際文化学部)
- ④ スキージャンプのシュミレーショントレーニング 一流選手との比較
○森 敏、畑中優祐 (東海大学国際文化学部) 松本実 (中京大学)
- ⑤ アルペンスキー選手における体幹筋群横断面積 国際レベルと国内レベルとの比較
○三浦 哲 (新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター) 三浦望慶 (ヘルス&アクティブエイジング研究所)
- ⑥ アルペン・デモトップ選手におけるスキーターン中の足裏感覚の検討
○中川喜直 (小樽商科大学) 山本敬三、竹田唯史 (北翔大学) 相原博之 (東海大学)

☆第 25 回冬季スポーツ科学フォーラム実行委員会

大会長 和田 健夫 小樽商科大学 学長
 実行委員長 中川 喜直 小樽商科大学 商学部
 実行委員 中津川雅宣 小樽商科大学 言語センター
 森 敏 東海大学 国際文化学部
 相原 博之 東海大学 国際文化学部
 山本 敬三 北翔大学 生涯スポーツ学部
 竹田 唯史 北翔大学 生涯スポーツ学部

☆冬季スポーツ科学研究会運営委員会

運営委員長 渡部 和彦
 運営委員 飯塚 邦明、川初 清典、吉本 俊明、浅野 勝己、
 運営委員 結城 匡啓、藤沢 謙一郎、袖山 紘、池上 康男
 運営委員 鈴木 省三、佐藤 佑、三浦 哲、竹田 正樹

●●● JR線をご利用の場合 ●●●●●●●●

- JR 新千歳空港駅 から JR 札幌駅 までは約 40 分
- JR 札幌駅 から JR 小樽駅 までは約 40 分



⑬ 小樽商大線		
(19) 小樽駅前発	時刻	(19) 小樽商大前行
小樽商大前行	6	
33	7	47
03 42	8	15 55
00 23	9	11 35
04 35	10	18 50
03 25 55	11	20 42
25 55	12	12 42
25 55	13	12 42
25 55	14	12 42
25 55	15	15 42
30 57	16	15 45
32	17	15 45
00 32	18	15 45
10 32	19	20 45
00 25	20	12 45
00 23	21	12 34
	22	

運賃 220円 土日用

